



杉村楚人冠記念館 春季企画展「杉村楚人冠と石川啄木の交流」

楚人冠と石川啄木は東京朝日新聞社で、社会主義に興味を持つ同志として深い交流を重ねました。

今回の展示では、楚人冠と啄木の関係や、両者を巡る人々について、書簡などの資料を中心に紹介します。

期 間:4月15日(水)~7月12日(日)午前9時~午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日:月曜日(休日の場合は翌平日)

場 所:杉村楚人冠記念館

入館料:300円(高校・大学生200円)

※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方(本人と介助者1名まで)は無料

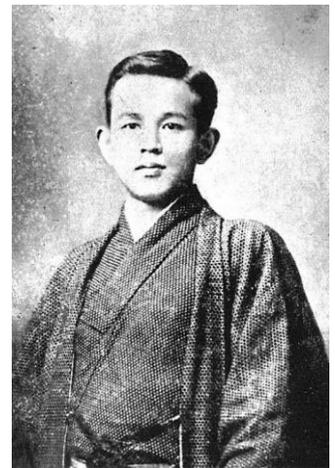
◎展示資料紹介

石川一書簡『皆様のお金頂戴およびクロポトキンの本購入に付』

(明治45(1912)年1月31日)

貧困にあえぐ啄木を見かねて、楚人冠は東京朝日新聞社内で義援金を募集しました。本書簡は、啄木が義援金を受け取ったことの報告兼礼状になります。この中で、啄木はクロポトキンの『ロシア文学』を買ったことを報告しています。

後年、楚人冠は「生活に困るからと送った金でクロポトキンを買うとはとあきれたが、これが啄木らしいところとも思った」という趣旨の回想をしています。



▲石川啄木肖像写真

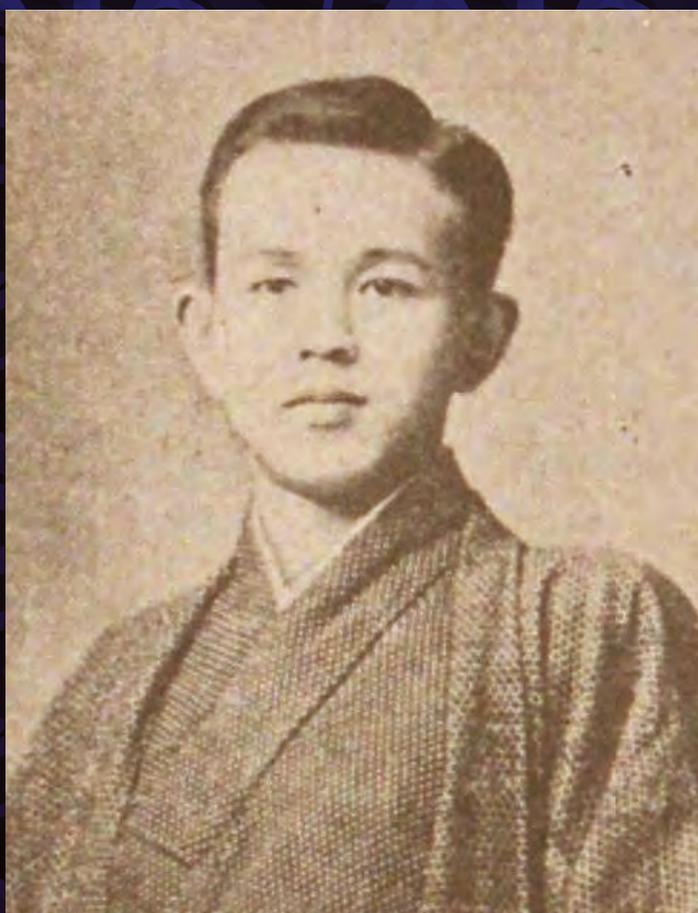
『現代短歌全集』第十巻より

【問い合わせ】

我孫子市 教育委員会 生涯学習部
文化・スポーツ課 杉村楚人冠記念館
担当:武藤
電話:04-7187-1131

杉村楚人冠記念館 春季企画展

杉村楚人冠と 石川啄木の交流



出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」

令和8年4月15日(水)～7月12日(日)

 物語の生まれるまち あびこ



展示情報はこちら



我孫子市杉村楚人冠記念館

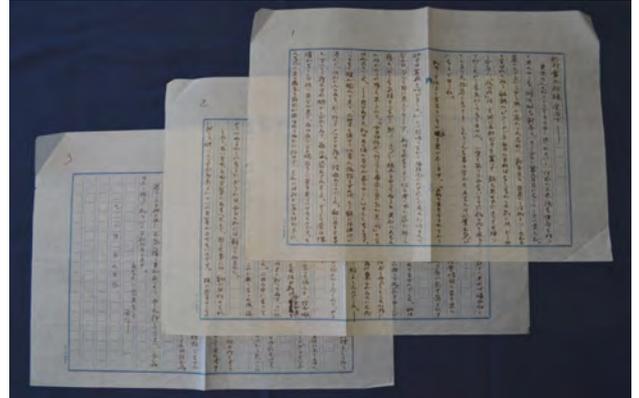
〒270-1153 千葉県我孫子市緑 2-5-5 電話 04-7187-1131

The Haven Abiko, Chiba-ken …安息の地、千葉県我孫子

東京朝日新聞社で出会い、親睦を深めた楚人冠と啄木 二人の交流と、両者をめぐる人々をご紹介します

夭折の歌人・詩人として名高い石川啄木。そんな啄木の短い人生の中で、東京朝日新聞社で共に働き、交友を深めた先輩として存在していたのが楚人冠でした。二人は「社会主義」という共通の関心を持っていたことで、社の中でも特に親しく交流しました。

今回の展示では、主に啄木が楚人冠へ送った書簡を中心に、楚人冠と啄木の交流についてご紹介します。さらに、楚人冠と啄木をめぐる人々、また啄木との出会いによって広がった楚人冠の人脈についてもご紹介します。



杉村楚人冠宛石川一（啄木）書簡
[年賀の葉書の有難い言葉に付き]

杉村楚人冠の邸宅

古きよき大正から昭和が息づく家

東京朝日新聞社のジャーナリスト・杉村楚人冠は、明治45年（1912）、千葉県我孫子に別荘を設け、大正12年（1923）の関東大震災をきっかけに一家で移住し、亡くなるまでをこの湖畔の地で過ごしました。

楚人冠が「The Haven Abiko, Chiba-ken」（安息の地、千葉県我孫子）と称した、風光明媚な我孫子の邸宅でのひと時を、どうぞお楽しみください。



名随筆が生み出された「書齋」



応接室「サロン」

母屋の内部



現在の杉村楚人冠邸園



庭を散歩する楚人冠

園内の様子

我孫子市杉村楚人冠記念館

開館時間：午前9時～午後4時30分（入館午後4時まで）

休館日：月曜日（月曜が休日の場合、直後の平日）

入館料：一般300円／高校・大学生200円 中学生以下無料

団体20名以上2割引 障がい者免除あり

3館共通券（白樺文学館・鳥の博物館共通、有効期限1か月）

一般500円／高校・大学生400円

2館共通年間パスポート（白樺文学館共通、1年間入館可、特典あり）

一般2,000円

交通手段：JR常磐線・成田線我孫子駅下車 南口より徒歩9分

阪東バス 緑一丁目・寿一丁目・アビスタ前下車 徒歩5分

駐車場はありません、公共交通機関をご利用ください。

